

同意承諾書 作成例

<共同研究者であり、かつ共著者の場合>

<p>同 意 承 諾 書</p> <p>東京太郎氏提出の博士論文中、私と共著（共同研究）の下記部分については、東京太郎氏の博士論文とすることを承諾いたします。</p> <p>記</p> <p>1. 令和〇〇年〇〇月 〇〇雑誌〇巻〇〇～〇〇頁 「〇〇〇〇〇〇〇」 (×××××、×××××と共著)</p> <p>2. 平成〇〇年〇〇月 〇〇〇〇学会誌〇〇月号〇〇～〇〇頁に公表予定 「〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇」 (×××××と共著)</p> <p>令和〇〇年〇〇月〇〇日</p> <p><u>(↑※署名日は学位論文提出日（学位授与申請日）以前であること)</u></p> <p style="text-align: center;">共著者（共同研究者）</p> <p style="text-align: right;">○ ○ ○ ○ 印 (自 署)</p>
--

(※共著の部分について、論文目録「2. 印刷公表の方法及び時期」と同じ内容を記載する。)

<共同研究者の場合>

<p>同 意 承 諾 書</p> <p>東京太郎氏提出の下記博士論文中、私と共同研究している内容について、東京太郎氏の博士論文とすることを承諾いたします。</p> <p>記</p> <p>「博士論文題目」</p> <p>令和〇〇年〇〇月〇〇日</p> <p><u>(↑※署名日は学位論文提出日（学位授与申請日）以前であること)</u></p> <p style="text-align: center;">共同研究者</p> <p style="text-align: right;">○ ○ ○ ○ 印 (自 署)</p>
--

- (1) 博士論文の中で、共著または共同研究の部分がある場合、その共著者または共同研究者からこの同意承諾書を必ずもらうこと。
- (2) 共著者が故人となった場合を除き、この同意承諾書は必ず提出すること。
- (3) A-4 判縦型で作成し、共同研究者が複数の場合は共同研究者別に作成すること。
- (4) 提出された『同意承諾書』はそのまま複写して本研究科委員会の資料にすることがあるの

で、できるだけ手書きは避けること。

- (5) 「年月日」は承諾年月日にすること（論文提出時以前であること）。
- (6) 著名は必ず自署し、捺印もれのないようにしてください。共著者（共同研究者）が外国人の場合は、英文での作成も可。外国人の場合は、サインを捺印の代わりとしますが、その際氏名の部分はタイプ打ちすること。